EVENT**REPORT**

悪天候をはねのけたR好きの熱き想い

コロナ禍を乗り越え、2022年は制限のない通常開催に戻った「R's Meeting」。
日本全国からGT-Rを愛するオーナーやファンが2023年も富士に集った。
14年連続、通算16回目を迎えられた本イベント。
豪華ゲストを交えたトークショーなど、当日の様子をダイジェストでお届けする

text_Takatoshi Harada
photo_Atsushi Makabe / Hiromichi Kimura / Shinya Kaga / Takatoshi Harada

GT-R Magazine presents

powered by AUTO MESSE

R's Meeting 2023

日本が誇る歴代GT-Rが富士の裾野に集結

2023年は3回のトークショーを開催。第2世代の開発陣と最新R35開発陣、そしてGT-Rを知り尽くすドライバーによる3本である。なかでも土屋圭市さんの人気は高く、ステージトラック前が人で溢れてしまうほど。軽快なトークで会場も大盛り上がりだった。各回すべて桂 伸一氏と木下隆之氏に登壇いただき、各ゲストを盛り上げていただいた！

GT-R Magazine presents powered by AUTO MESSE
R's Meeting 2023

各ショップが趣向を凝らした展示内容で注目を集めていた。エンジンからマフラーまでをイメージさせるための個性的な展示を行うブースもあり大好評であった

雑誌でよく見る有名ショップデモカーが勢揃い。新作アイテムを装着するなど、最新仕様が見られるとあって多くの来場者が各ブースの前で足を止めて注目していた

今回GT-Rマガジンブースには、Vol.173の表紙に登場した2024年モデルのR35と、HKSが誇るコンプリートカー「ZERO R」の最新バージョンを展示した

愛車撮影会には多くの方からエントリーをいただいた。子供の成長記録にしています、といったお声もいただく。これからも開催予定なので、ぜひご応募ください

GT-R Magazine presents powered by AUTO MESSE
R's Meeting 2023
日本最大級のGT-R祭りを続けていくために

年に一度のGT-Rの祭典 これからも進化するために

GT-Rマガジンの人気イベントとして定着している、読者のためのイベント「R's ミーティング」。2023年は10月29日に静岡県・富士スピードウェイにて開催した。

期待されているイベントだけに、来場された方全員を笑顔にしたい。そのような想いを持って、野田前編集長から引き継ぎ準備を進めてきた。しかし愛車撮影会の当落発表のメールをシステムのエラーにより誤送信してしまうという失態。多くの方を失望させてしまうことに……。この場を借りてお詫びします。

当日の早朝は、大雨を通り越して豪雨。これでは参加を取りやめる方が多いのではと心配していた。なぜなら新車から雨天未使用という方も多いから。これでは大事なRを濡らしたくないという方が多いのでは、と想像しながら関係者ゲートへ向かった。すると、すでにゲート前はGT-Rの列が完成しているではないか。ゲートをオープンすれば、続々と歴代Rが入場してくる。あっという間に、イベント広場もP12も、エントリーユーザーで埋め尽くされてしまった。前のページでも紹介している、Aコースに参加されている方のコメントを見ると、雨天未使用で大事にしていますというフレーズもちらほら。編集していていこの言葉が登場するたびに、心が苦しくなってしまう。来年は降水確率ゼロで天候の不安なく開催できることを願ってやまない。

今年もトークショーを3本開催。R33商品主管の田口 浩氏、R33／R34商品主管の渡邉衡三氏をお迎えした「R's 開発陣トークショー」、日産自動車からR35ブランドアンバサダーの田村宏志氏、R35チーフビークルエンジニアの川口隆志氏をお迎えした「R35開発陣トークショー」。そして、レジェンドドライバーの土屋圭市氏と、日産自動車・車両実験部の加藤博義氏をお迎えした「R'sドライバートークショー」の3回を開催した。また、すべての回にモータージャーナリストでレーシングドライバーである桂 伸一氏と木下隆之氏に登壇いただいた。ゲストとしてはもちろん、サブMCとしてゲストを盛り上げてもいただいた。来年も豪華ゲストをお迎えしてトークショーを開催する予定である。

今回のイベントテーマは、「進化」とした。新体制の1号目である173号の表紙にも使用しているが、新体制となって初のイベントであり、新しいことに挑戦したいという思いと、イベントも進化させたいという思いなど、色々な願いを込めていた。準備期間も短く、コンテンツは愛車撮影会のみとなってしまって失望させてしまった。来年は、パレードランの復活をはじめ、新しいコンテンツも行えないか検討中である。2024年のイベントは本当に「進化」させたいと思っているので、みなさんも「こんなことはできないか？」といったご意見を伺えたら幸いである。

スカイラインGT-Rおよび日産GT-R日本最大級のイベントである「R's ミーティング」。年に一度ということもあり、同窓会のような雰囲気もある。皆さんからの期待に応えられるよう、編集部・スタッフ一同頑張りますので、2024年のR's ミーティングにご期待ください。